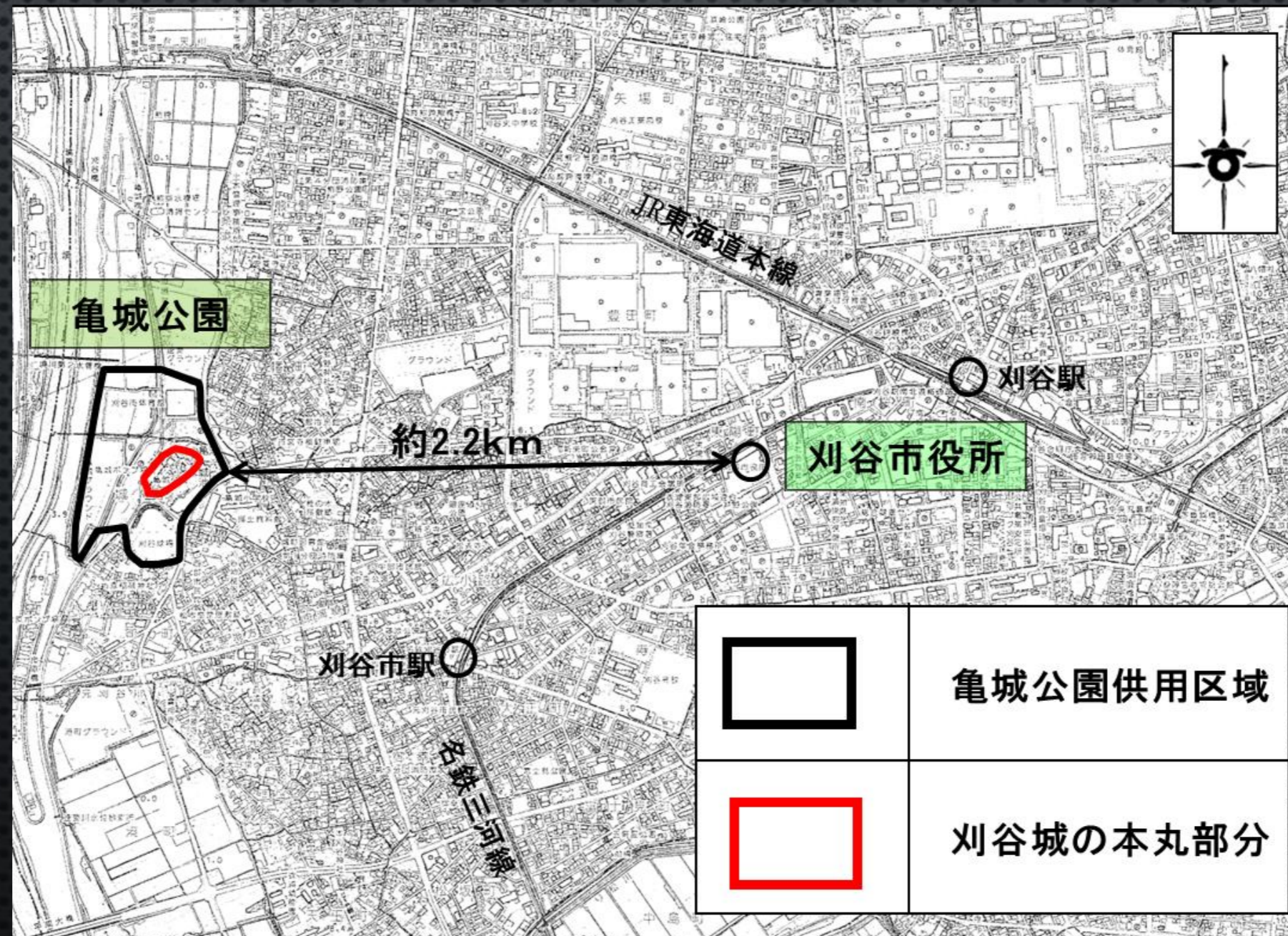


刈谷城のこれまでの取組

刈谷市 都市公園部 公園整備課

1-1 亀城公園について①

- S12年（1937）に開設した本市で最も古い都市公園
- R8年（2026）で開設から**89年**が経過
- 樹齢超過による桜の生育不良・公園施設の老朽化が顕在化、ユニバーサルデザインに対応するため、H20年から再整備に着手
- 刈谷城址であり、江戸時代には水野勝成を初代として9家22人の藩主が在城



【亀城公園位置図】

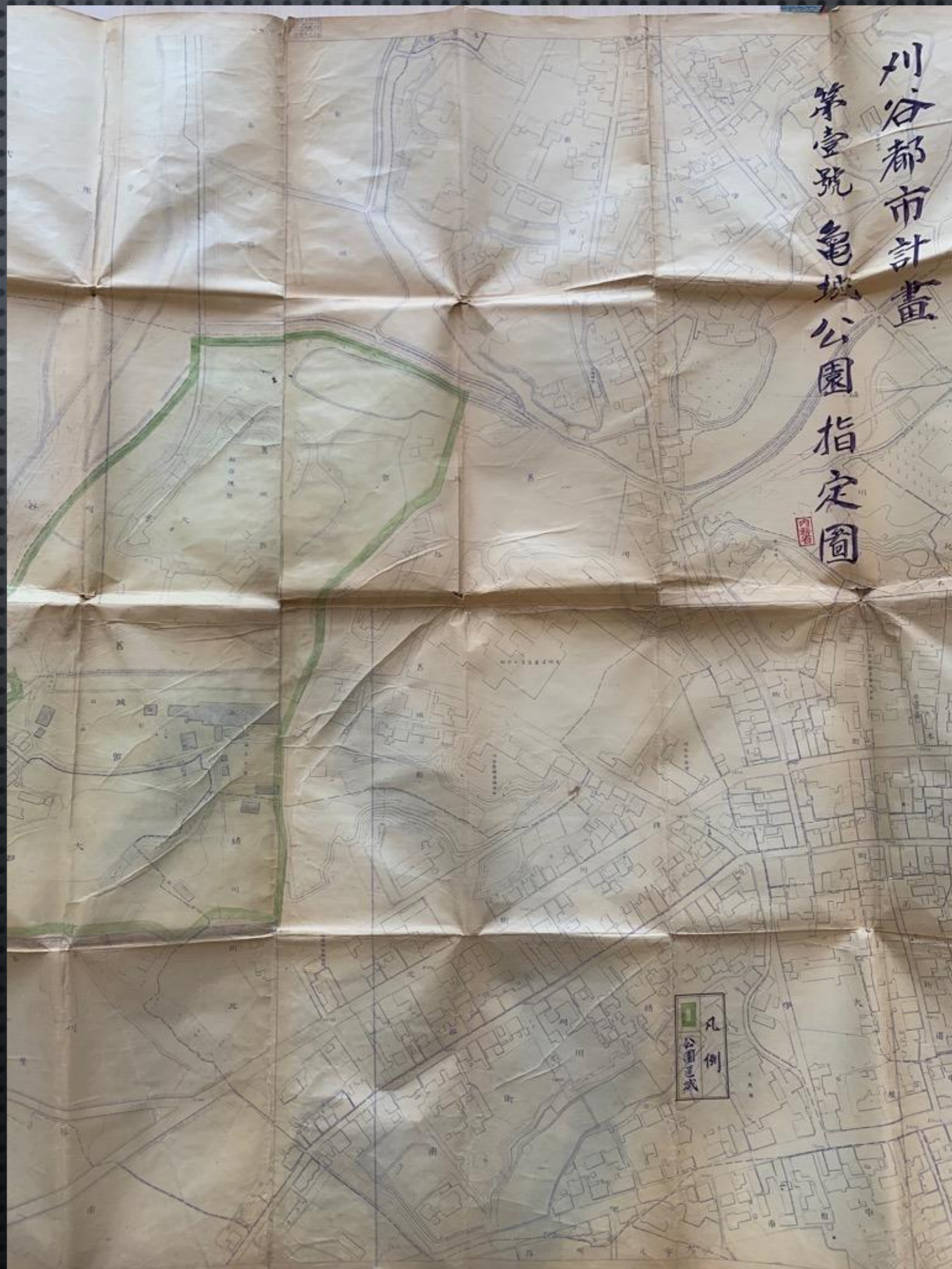
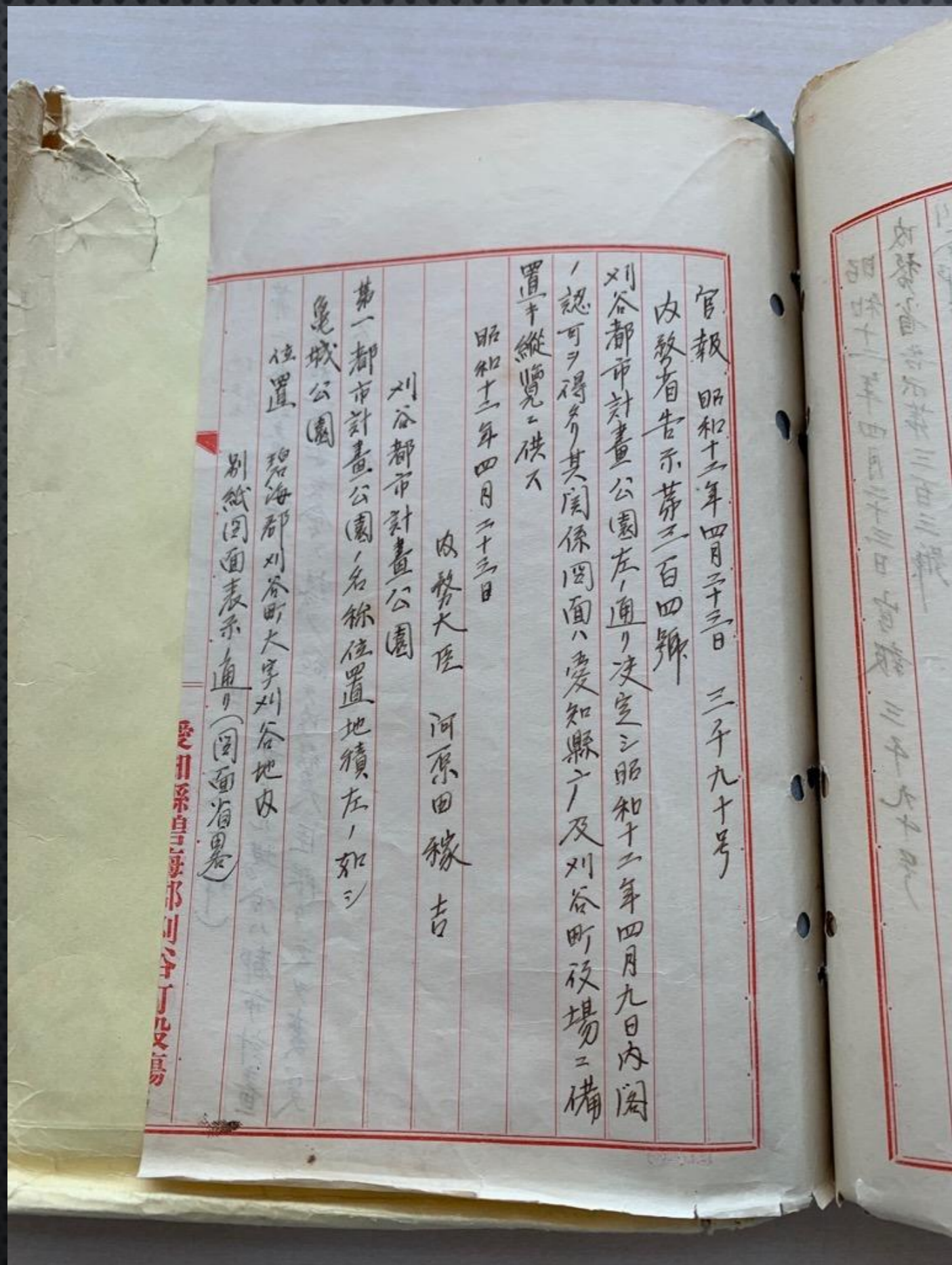
1-1 亀城公園について②

- S 9年：刈谷町に都市計画法が適用され、町域全体が都市計画区域となった。
- S 11年：大野一造が刈谷町長となり、町会の意見に基づき、刈谷町が刈谷城址を買い上げた。

- S 12年：刈谷城址の都市計画公園決定が行われ、亀城公園（約7.9ha）とした。
 - ※T 15の名古屋市、S 11年の豊橋市に次ぐ**県内3番目の決定**
 - ※決定理由：刈谷町は工業都市として近時其の発展著しいものあるも現在町内に公園施設はないので、城址を中心とする附近約7.93haを都市計画公園として決定し町民の慰楽休養に備えんとする。

- S 12年：亀城公園を中心に風致地区に指定（約20.9ha）
 - ※S 11年の豊橋市に次ぐ**県内2番目の指定**
 - ※指定理由：刈谷町は往時城下町として構築され、町の西端に在る城址は、殆ど荒廢に帰せるも石畳、濠跡等により往時を偲ぶにたるものあり。附近一帯土地高燥にして樹木鬱蒼と繁茂し西方逢妻川、境川を隔てて知多の丘陵を一気に収め遥かに衣ヶ浦を望み得る等同町唯一の景勝地なり。然るに近時町勢の発展に伴い稍もすれば之等の風致は棄損されようとする情勢に鑑み城址を中心とする約21haの区域を風致の維持保育に遺憾なきを期せんとする。

1-1 亀城公園について③



1-1 亀城公園について④

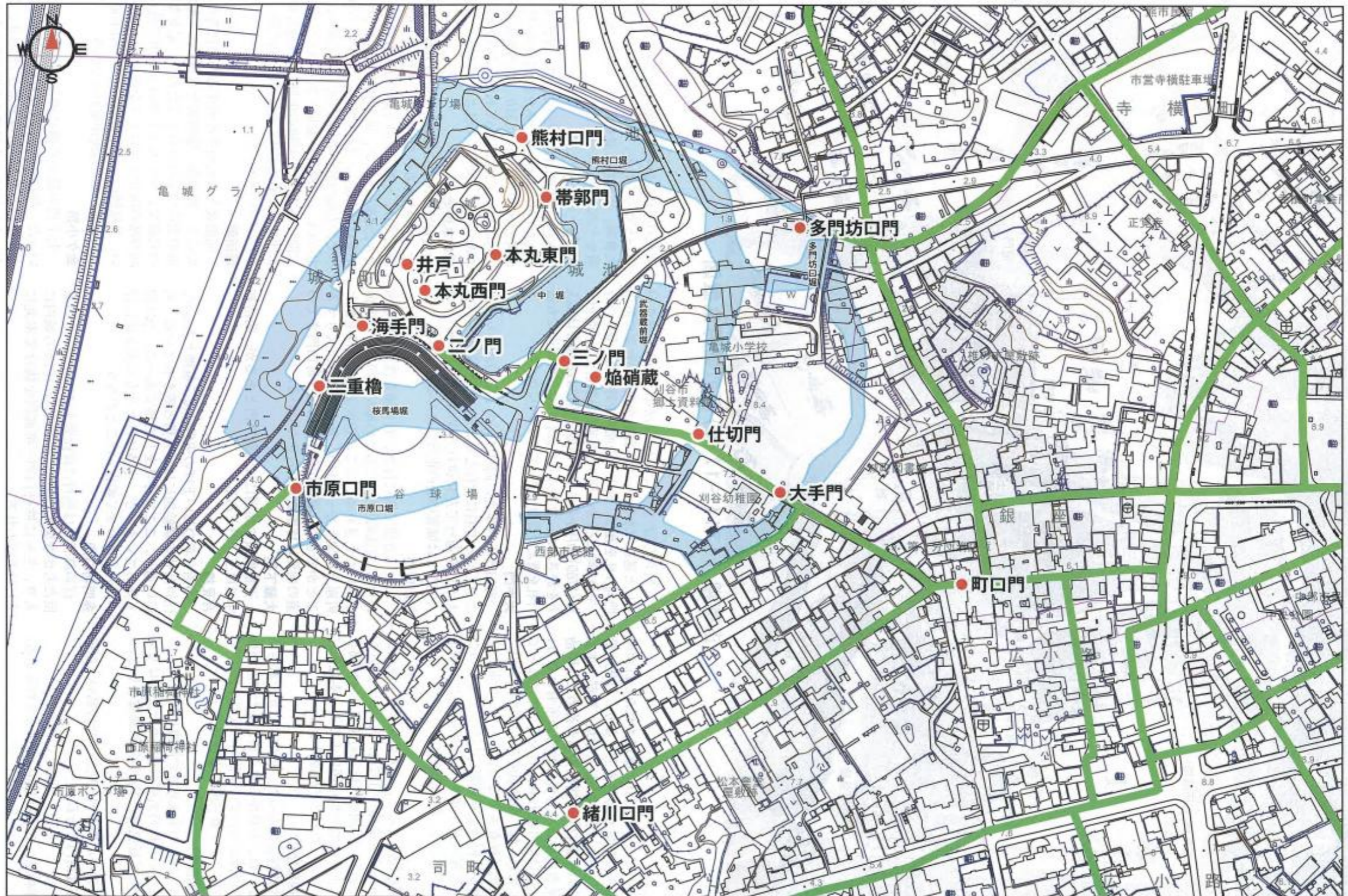


正徳期 (1711~1716) 頃の城郭位置図

市HPより

1-1 亀城公園について⑤

刈谷城現況対照図 (明治初年)

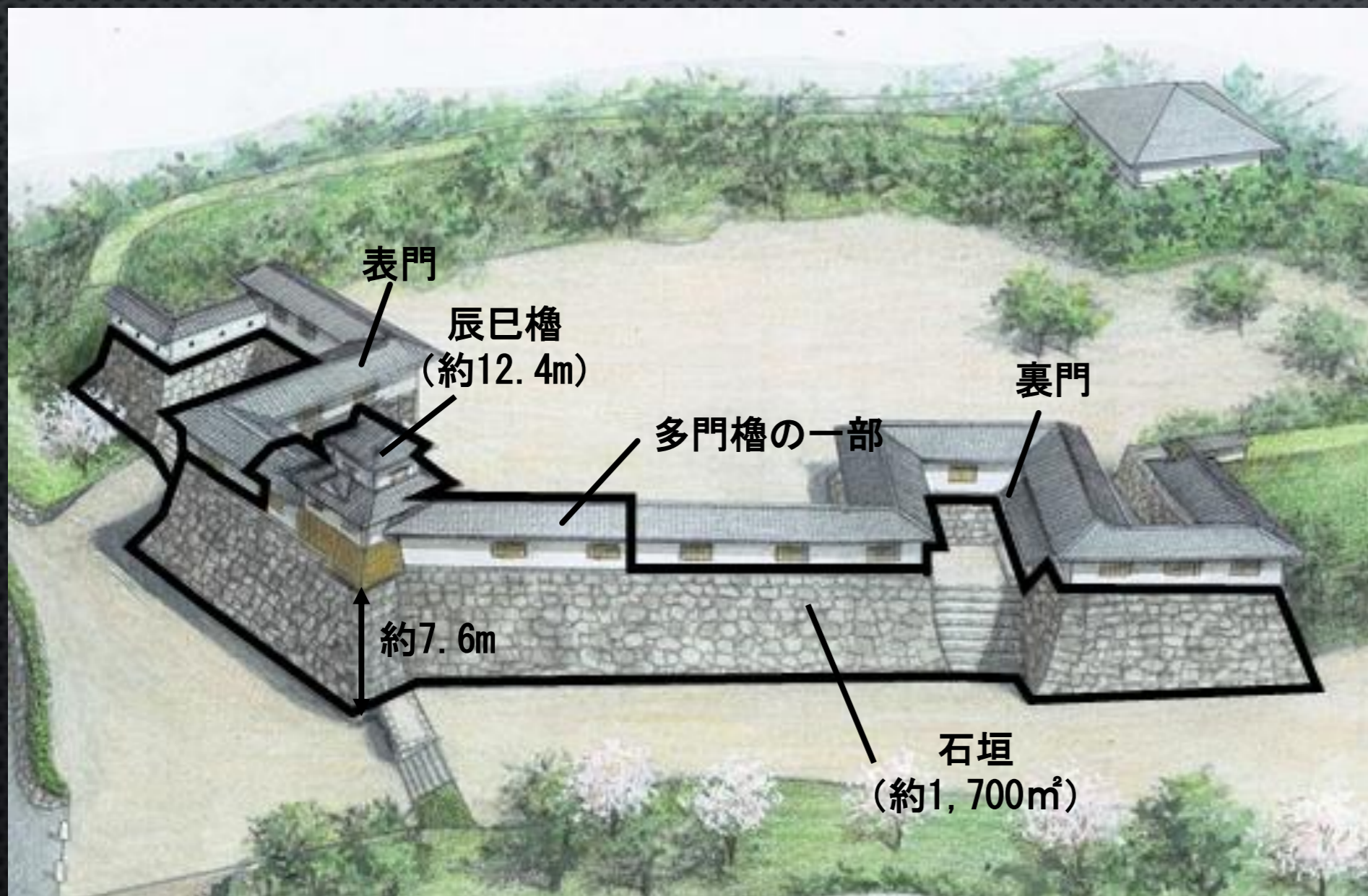


● 払い下げ史料にある名称

市HPより

1-2 経緯（刈谷城整備関連）について

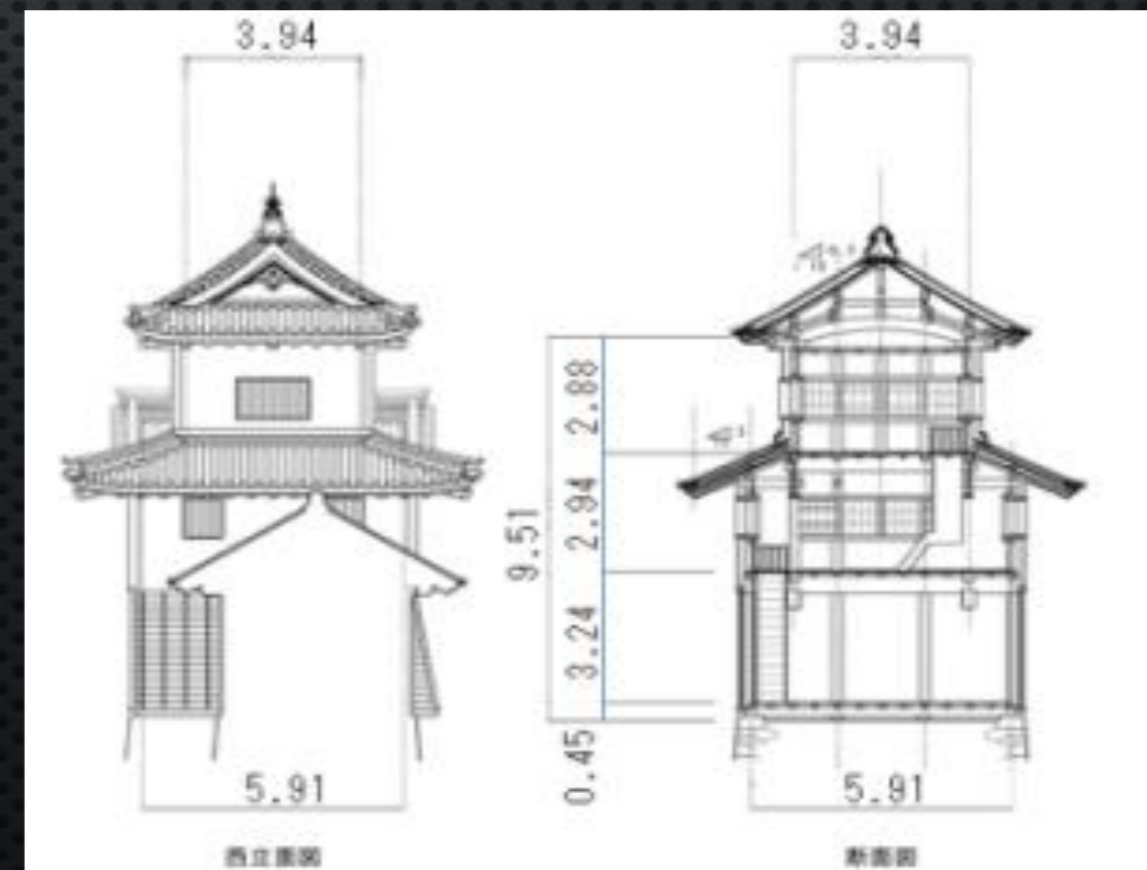
- H21～R7 : 発掘調査（計8回）
- H21～ : 城絵図や史料の収集・検証
- H27・H28 : 亀城公園歴史的建造物等基本設計の実施
- H28 : 亀城公園歴史的建造物等実施設計の実施 ※熊本地震を受けて見送り
- R3～R6 : 魅力あふれる公園づくり構想、ロードマップの策定
- R7～ : 刈谷城石垣隅櫓等の実施設計及び確認申請手続き等の実施



【刈谷城の復元イメージ（基本設計時）】

【整備内容（基本設計時）】

- ・ 建造物：
辰巳櫓、多門櫓の一部
- ・ 石垣：
最大高さ約7.6m、面積約1,700m²



【辰巳櫓立面図（基本設計時） 単位：m】

1-2 経緯（築城啓発関連事業）について

- H24・H25 : 次世代タウンミーティングの開催
- H25 : 刈谷城築城480年記念事業の開催
(PRランニング、記念展、記念会、フット甲冑行列、城郭講演会など)
- H27 : シリーズ藩物語「刈谷藩」出版記念会、刈谷藩主シンポジウムの開催
- H27・H28 : 亀城公園歴史的建造物等整備検討委員会の開催（計3回）
- H28 : 刈谷城シンポジウムの開催



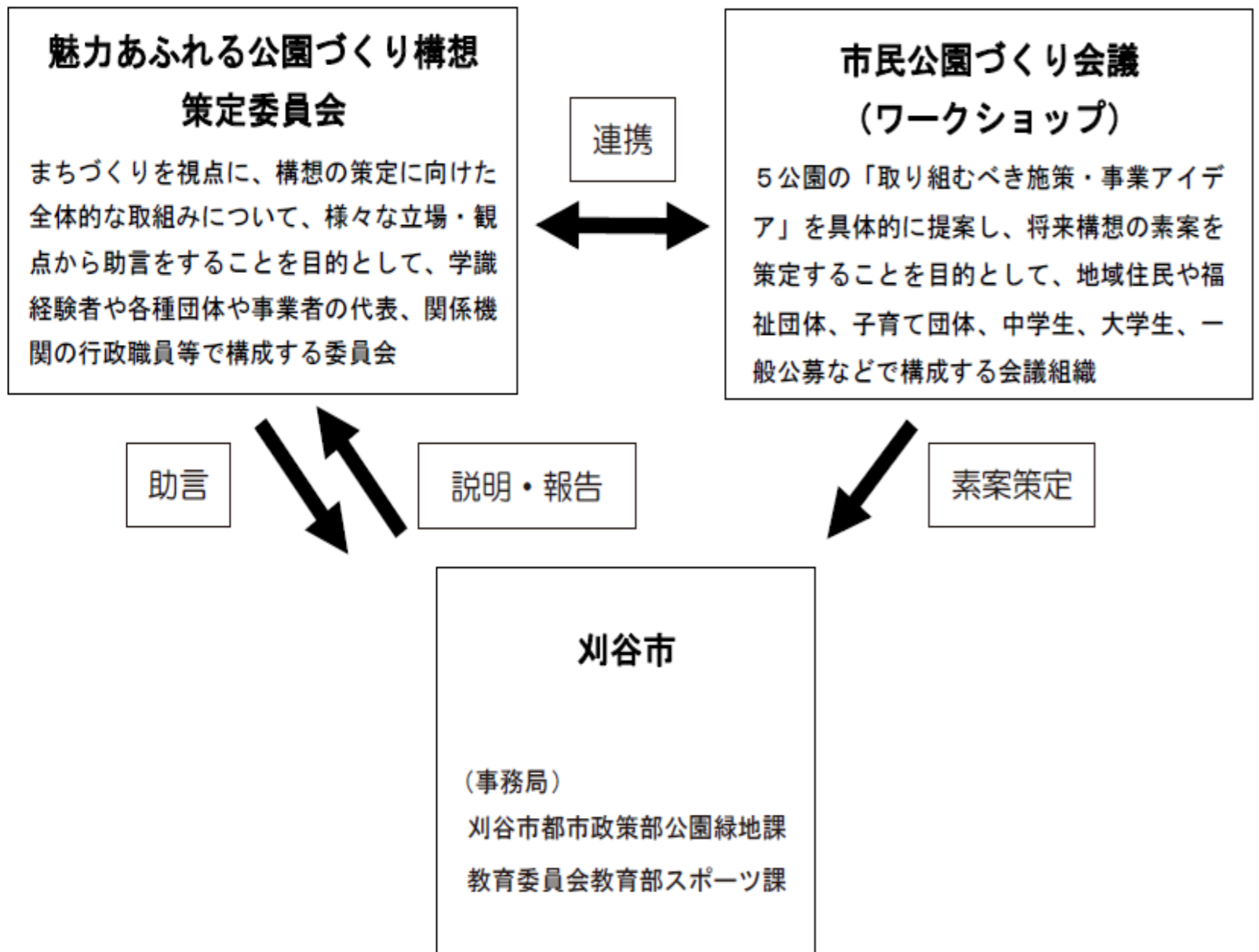
1-3 魅力あふれる公園づくり構想の策定について①

- 目的 地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに向けて、対象とする5つの公園が有する機能を高めていかすことで、利用者ニーズを満たす誰もが行きたくくなるような公園づくりを効率的かつ効果的に推進し、「憩い」と「にぎわい」の場を創出するもの
- 対象公園 洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみ
- 策定期間 R3～R4年度 ※公表：R5年3月



1-3 魅力あふれる公園づくり構想の策定について②

- まちづくりを視点に、構想の策定に向けた全体的な取組みについて、様々な立場・観点から助言をすることを目的として、学識経験者や各種団体、事業者の代表、関係機関の行政職員等で構成する『魅力あふれる公園づくり構想策定委員会』（計14名）を設置
- 5公園の「取り組むべき施策・事業アイデア」を具体的に提案し、将来構想の素案を策定することを目的として、地域住民や福祉団体、子育て団体、中学生、大学生、一般公募などで構成する『市民公園づくり会議』（ワークショップに計72名が参加）を設置
- 公園利用者アンケートや構想案に対する公園出張アンケートを実施（計2,387件回収）



1-3 魅力あふれる公園づくり構想の策定について③

亀城公園 将来構想



公園の将来像

「刈谷の歴史を次世代に語りつなぐ」シンボル公園

公園の未来

- 1) 石垣・隅櫓・堀等を復元し、刈谷の歴史と文化をつなぐシンボルとなる公園に生まれ変わります。
- 2) 四季の花や公園機能の充実により、一年中だれもが楽しめる公園になります。
- 3) 地域・民間・行政の連携により、地域と密着した安心・安全な公園づくりが進められていきます。

桜のみち (☆☆☆)

桜の名所である亀城公園のお堀沿いと、公園に接する道路は桜で彩られています。

■刈谷城址・エリア

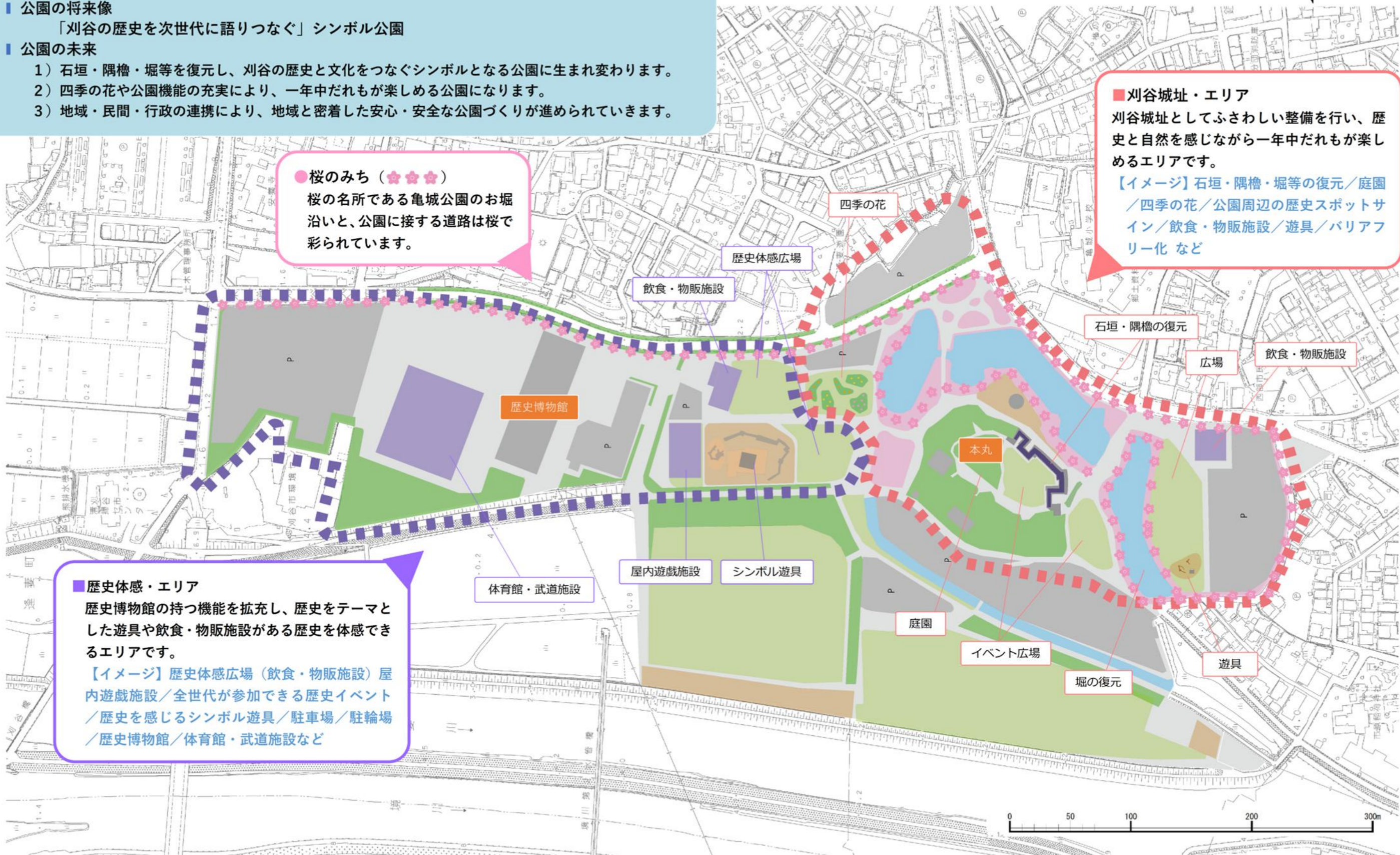
刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中だれもが楽しめるエリアです。

【イメージ】石垣・隅櫓の復元／庭園／四季の花／公園周辺の歴史スポットサイン／飲食・物販施設／遊具／バリアフリー化 など

■歴史体感・エリア

歴史博物館の持つ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具や飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリアです。

【イメージ】歴史体感広場（飲食・物販施設）屋内遊戯施設／全世代が参加できる歴史イベント／歴史を感じるシンボル遊具／駐車場／駐輪場／歴史博物館／体育館・武道施設など



1-3 魅力あふれる公園づくり構想の策定について④

歴史体感・エリア

歴史博物館の持つ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具や飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリアです。



【利活用イメージ】

- 歴史博物館では、刈谷の歴史や万燈祭などの文化について学んだり、体験しています。
- 飲食・物販施設では、ご当地グルメを家族でおいしそうに食べています。
- 歴史を感じさせる大型遊具や雨の日などでも遊べる屋内遊戯施設では、子どもも大人も一緒に遊び笑顔であふれています。
- 歴史体感広場では、地域・民間・行政が連携して、大小さまざまなイベントが年中開催され、多くの人で賑わっています。
- 体育館・武道施設では、スポーツや武道で汗を流しています。



(イメージ)

刈谷城址・エリア

刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中だれもが楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

- 石垣・隅櫓・堀の趣のある景色を眺めたり、十朋亭や野点(茶会)でくつろいでいます。
- 花や木々を見て四季を感じ、心を潤しています。
- 桜まつりや歴史をテーマとしたイベントが開催され、賑わっています。
- だれもが一緒に公園内を散策しています。
- ボランティア・ガイドの案内で、刈谷城や周辺の史跡を散策しています。



(イメージ)

1-3 魅力あふれる公園づくり構想の策定について⑤



刈谷市
Kariya City



刈谷市マスコットキャラクター
かつなりくん



刈谷市公式 YouTube チャンネルへ GO!

<http://www.youtube.com/@kariyacityhall>



1-4 構想ロードマップについて

- 策定目的 構想の実現に向けた事業の平準化を図り、計画的に推進する必要があるため
- 策定期間 R5～R6年度 ※公表：R6年9月
- 学識経験者や「市民公園づくり会議」に参加した市民などで構成する「魅力あふれる公園づくり推進委員会」（計19名）を開催し、外部の意見を伺い検討
- 効率的な公園づくりを目指して、民間事業者との連携して事業を推進することとし、実現の可能性などを把握するため、サウンディング調査を3回実施し、事業手法を検討

■公園の将来像

「刈谷の歴史を次世代に語りつなぐ」シンボル公園

■公園の未来

- 1)石垣・隅櫓・堀等を復元し、刈谷の歴史と文化をつなぐシンボルとなる公園に生まれ変わります。
- 2)四季の花や公園機能の充実により、一年中だれもが楽しめる公園になります。
- 3)地域・民間・行政の連携により、地域と密着した安心・安全な公園づくりが進められていきます。

■ロードマップ

[凡例] → 整備事業 → 指定管理事業 → プレ事業



亀城公園ロードマップ

